

令和6年5月8日

長野市立博物館 春季企画展

『『青い目の人形』 記憶から何かへ—戦後80年を目前に』
を開催しています

日米親善人形、通称「青い目の人形」の展示を行います。



左：日米親善人形（吉徳資料室蔵）中央：答礼人形（吉徳資料室蔵）右：Madame Hendren Doll（当館蔵）

- 1 内容 今から97年前の昭和2年、アメリカの世界児童親善会の企画で、日本の子どもたちに人形が贈られました。この人形は、日米親善人形と呼ばれますが、一般的には「青い目の人形」として親しまれてきました。これらは、戦時中には「敵性人形」として排斥の対象になりながらも、一部の人形は隠され、戦後まで残されてきました。そのエピソードは多くの人々の記憶に基づき、センセーショナルなストーリーとして語られてきました。しかし、戦後80年を目前として、その記憶を残し、語ることでできる人は非常に少なくなっています。「青い目の人形」の記憶はどうなるのか、考えるきっかけとなる展示です。
- 2 開催期間 令和6年6月16日（日）まで
休館日：毎週月曜日
- 3 場所 長野市立博物館 特別展示室
- 4 開館時間 9：00～16：30（入館は16：00まで）
- 5 入館料 一般500円、高校生150円、小・中学生100円（土曜日は小・中学生無料）
- 6 その他 詳しくはホームページをご覧ください

観光文化部 長野市立博物館

（館長）中野 真一

（担当）樋口 明里

TEL：026-284-9011

FAX：026-284-9012

E-mail：museum@city.nagano.lg.jp